



# 性の多様性を知ろう

「LGBTQ+（プラス）」を知っていますか？

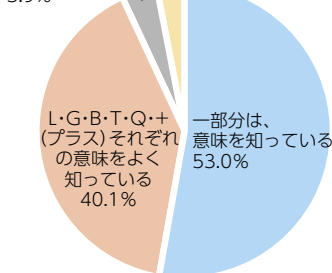
「よく知っているよ〜」「あんまり知らないな〜」「自分はそうだ」…さまざまな答えが返ってきます。LGBTQ+とは性的少数者とも言われ、「性的指向・性自認・その他」を表す言葉の頭文字を組み合わせた総称語です。

私たちの「性のあり方」はさまざまであり、全ての人に関わることで、正しく理解されていない場合があり、生きづらさや苦痛を抱えて生きている方々も多くいると言われています。知らないことは誤解や偏見を生み、根拠のない差別につながるおそれがあります。

「性の多様性」を正しく知って、皆が気持ちよく生きられる社会をつくっていきませんか？

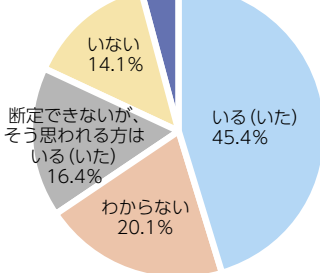
## LGBTQ+を知っていますか。

言葉は知っているが、意味は知らない 3.9%



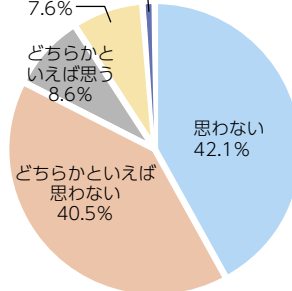
## まわりに性的少数者の方がいます（いました）か。

考えたことがなかった 3.9%



## 現在の社会は、性的少数者の方にとって暮らしやすい社会だと思いますか。

思う 1.3%



報告書詳細  
(市ホームページ)

令和4年度「性の多様性に関する市民アンケート」報告書から抜粋

調査方法：「久喜市電子申請・届出サービス」によるインターネット回答 調査期間：R4.10.1～10.21、回答者数：304人

## 性を構成する要素 (SOGIE)

性にはさまざまな要素があり、組み合わせによって、さまざまなセクシュアリティ（性のあり方）がカタチづけられています。人が自然に持っているもので、この組み合わせは多様で、一人ひとりが少しずつ異なります。

### 身体の性(生物学的性)

戸籍に記載されている性別を指しますが、性分化疾患などもあり、実際の体の性のありようは、単純に男女には二分できません。

### 心の性(性自認)

「自分をどんな性別だと思おうか」体と心の性が一致しない人や、男女どちらでもないと思う人もいます。

### 好きになる性(性的指向)

「恋愛感情や性的な関心がどの性別を対象にしているか」を指し、異性愛・同性愛・両性愛などがあります。

### 表現する性(性表現)

言葉づかいや服装、しぐさなど見た目の性別や周囲の人から見た性別の特徴を指します。

上記の性を構成する要素は男性/女性のどちらかに限定されるものではなく、それぞれがグラデーションの中にあります。



## ことばの説明

### SOGIE, LGBTQ+

ソジー、エル・ジー・ビー・ティー・キュー・プラスとそれぞれ読み、以下の頭文字をとった総称語です。

- 性的指向 (Sexual Orientation)
  - Lesbian レズビアン (同性を好きになる女性)
  - Gay ゲイ (同性を好きになる男性)
  - Bisexual バイセクシュアル (両性愛者)
- 性自認 (Gender Identity)
  - Transgender トランスジェンダー (性同一性障害、性別違和など、心と体の性が一致しない人)
- 性表現 (Gender Expression)
- その他
  - Questioning クエスチョニング (自分の性的指向や性自認がわからない、迷っている人など)
  - + プラス (その他の多様な性のあり方)

エックスジェンダー：性自認が中性、または性別をどちらかに決めたくない人

アセクシャル：他人に恋愛感情を抱かない人

カミングアウト：他者に知られていないことを本人自身が自発的に伝えること  
アウティング：巻末コラム参照 (→ P.4)



ことば詳細  
(市ホームページ)

# 自分らしくありのままで生きたい



久喜市パートナーシップ宣誓制度を利用して宣誓したFさん、Nさんにお話を伺いました。おふたりは、Nさんのお子さんと一緒に家族として暮らしています。

**Fさん** 私は生まれた時の性は女性で、性自認は女性でも男性でもないエックスジェンダーです。パートナーのNさんは女性として生まれ、性自認も女性です。Nさんとは職場で知り合いました。

私は小学生の頃から性の違和感があり、とりわけ違和感が強くなったのは中3から高1にかけてです。同性に対して恋愛感情を抱くようになり、自分は他の人と違うなと思ったけれど、当時は自分の感情を認めたくない、自分は普通だと思いたかったのです。

**Fさん** 家族にも友人にも言えない状況が続きましたが、20歳を過ぎた頃に有名人が「私はLGBTだ」とテレビなどで告白するようになりました。自分と同じ悩みを抱える人がたくさんいることを知り、「自分はこのままでいいんだ」と思えるようになりました。

最初に姉にカミングアウトした時は「そうだと思ってたよ、別にいいんじゃない」くらいの反応でした。母にはメールで伝えました。母は驚いて、最初は「自分のせいかしら？」と悩んでいました。世間にLGBTという言葉が知れ渡った頃だったから、時間をかけてそのことを受け入れてくれたのだと思います。周りの環境のせいでも、親の育て方のせいでもない。**たまたまそう生まれてきただけ**なんです。母は父に伝えてくれて、父は何も言わず分かってくれました。

「男になりたいわけじゃない。女らしい服が辛い、好きな格好をしたいだけ」という、ずっと言えなかった気持ちを、やっと家族に話せてほっとしました。**本当の自分を知ってほしい、自分らしくありのままで生きたい**という思いがあったので、解放された気持ちになりました。

## Fさんから、悩んでいる方へ

「無理にカミングアウトする必要はありません。焦らないでください。自分らしさ、個性だと考えて、自信を持ってください」と伝えたいです。自分が思っているよりも周りには受け入れてくれます。

周囲に言えず悩んで生きる人に、当事者から直接「気にしなくていいんだよ」「不安に感じなくていいんだよ」と話せる場が必要です。一人じゃないんだという事を伝えられます。機会があれば、私も発信してみたいです。



Fさん (右) とNさん (左)

**Fさん** 職場で上司に相談したら受け入れてくれて、同時期、社内でジェンダー研修会も開催されました。理解のある会社で良かったと思いました。以前は職場で女性らしい格好をするのが苦痛でしたが、これも徐々に楽になりました。

**Nさん** 私はFさんとの関係を親に話した時は「良い気持ちはしないよ」と言われました。でも、今では「好きにきなさい。子どもの事を一番に考えなさい」と言ってくれて、交流はあります。

**Fさん** 辛いのはアウティング (→P.4コラム参照) です。LGBTQ+に偏見を持つ人には知られたくないし、思ってもいないところで噂されるのも嫌です。まだまだ社会には偏見があります。偏見を持つ人に、偏見を持つなどは言いませんが、もう少し関心を持ってほしいし、性の多様性を理解してほしいです。

久喜市へ引っ越してきた時に、久喜市でパートナーシップ宣誓制度が始まることを知って嬉しかったです。けれど、パートナーシップ制度には限界があり、結婚とは異なります。国に対して、同性婚を認めてほしいし、**同性婚が当たり前の世の中になってほしい**です。



# そろそろ“二択主義”をやめてみませんか？



久喜市の性の多様性に関する取り組みへの支援を行っている「久喜市にじいろ特命大使」の白花茉莉しらはなまつり（通称氏うじ）さんにお話を伺いました。

私は男性として生まれましたが、性別適合手術を受けて戸籍も女性になりました。性の違和感があったのは6歳の時。スイミングスクールの男子用水着を着て「なぜ胸を隠さないのだろう？」と疑問に思いました。

高校生の時、テレビドラマで性同一性障害（性別違和）を取り上げていました。「性同一性障害」という言葉を知り、自分自身のことを理解しました。女友達から「あなたもトランスジェンダーじゃないの？」と聞かれ、「そうだよ」と答えたのが最初のカミングアウトかもしれません。完全なカミングアウトは30歳の時。親しい友人や同僚から始め、上司、親の順番に話しました。言っても差し支えない人から話し、周りを固めてから親に話しました。職場の人や友人はすぐに受け入れてくれました。

カミングアウトをする時は、全てさらけ出すので怖かったです。私の事を理解してくれない人がいる事も、私は受け入れています。理解してくれないからといって排除や否定をすると、その人たちが逆の立場（マイノリティ）になってしまいます。

朝起きてから鏡を見て、トイレに行って夜寝るまで、世の中は性に関することばかりで1日中葛藤しています。外出時のトイレ、様々な書類の性別欄、骨格の関係で女性用の服が着られないなど、辛い事が多いです。水着や更衣室の関係で趣味の水泳が出来ないですし、温泉にも入れません。自分のせいで不快になる人がいると思うと「いいや」となってしまうんです。

## 白花さんから、悩んでいる方へ

「当事者として相談にのります」という人を見つけて、相談してみてください。同じような境遇（悩み）を経験した人や、当事者として傾聴し、一緒に歩んでくれる人がいいと思います。私への相談はいつでも大丈夫です。相談等があれば市の人権推進課を通してお問い合わせください（問い合わせ先は裏面にあります）。



鷺宮中学校で授業をする白花さん



久喜市にじいろ特命大使 白花茉莉さん

「そろそろ“二択主義”をやめてみませんか？」という言葉をよく使っています。バリエーションを認めて、多様性を尊重しませんか？という意味です。「二択主義」とは、「男女」や「良い悪い」などを二者択一で決めてしまうことですが、「男女」や「良い悪い」の間に**グラデーションがあってもいい**と思うのです。私は、十分な議論をして自分の意見を持つこと、検証してみることが大切だと考えています。

私はにじいろ特命大使として、市職員への研修や市民講演会、市内小中学校での授業のほか、性の多様性に関する市の施策への助言、交流会「にじいろひろば」への参加、市の性に関する取り組みの発信などをやっています。

社会において、いろいろな選択ができるような制度として、**あらゆる性的指向・性自認の人が幸せになれる制度を作ってほしい**です。



## 久喜市にじいろ特命大使ってなあに？

性の多様性に関する久喜市の取り組みへの協力や助言、情報発信を行っていただいています。さらに、白花さんは市立小中学校から依頼を受け、性の多様性に関する特別授業なども行っています。

# アウトティングは禁止です

アウトティングとは「本人が公にしていない自身のことを、本人の了解を得ずに他の人に話すこと」です。LGBTQ+当事者の方はアウトティングを「特に嫌だ」と感じています。アウトティングをされて心身のバランスを崩して自ら命を絶った人もいます。

アウトティングは人の秘密を暴露する行為で、絶対にしてはいけません。自分を信頼してカミングアウトしてくれたことを、「周囲との情報共有が必要だから」「相手のことを思っている行動だ」などの独りよがりの理由で、勝手に他の人に話すことは厳禁です。「カミングアウトの内容を他の場所で話さないこと」「話す場合は事前に本人の同意を得ること」を必ず守りましょう。今まで打ち明けた相手や、伝えて良い人などを聞いておくのも良いでしょう。

そもそも、周りの人のプライバシーに配慮することは、人として当然のことです。



## 性の多様性に関する久喜市の取り組みを紹介

- パートナーシップ宣誓制度の実施、ファミリーシップ制度の導入を予定
- 「久喜市にじいろ特命大使」の委嘱
- 交流会（にじいろひろば）の実施
- 啓発パネルの展示や講演会の実施
- 相談窓口の周知
- 性的少数者への尊厳と社会運動を象徴する「レインボーフラッグ」の庁舎内での掲示
- 市立図書館での性的少数者に関する図書の特設コーナー設置（期間限定）
- 市内公共施設のトイレに「みんなのトイレ」を表示など



レインボーフラッグ

## 女性の悩み（カウンセリング）相談

「女性の悩み相談」では、配偶者等からの暴力に関すること、家族・夫婦に関すること、自分の生き方や人間関係等、女性の様々な悩みや心配事について相談できます（要予約）。相談の費用は**無料**です。

また、相談に関する秘密は固く守ります。

**相談日程** 第1・第3金曜日

面接、電話、もしくはオンライン相談

**相談会場** 久喜市役所（本庁舎）

**相談時間** 1人**50分**

**対象** 市内在住・在勤・在学の女性

**相談員** 女性カウンセラー（臨床心理士）

**申込方法** **相談は予約制**です。電話または窓口で人権推進課（下記連絡先）へお申し込みください。



## 編集後記

### 「そよかぜ」は、市民ボランティアの編集員の方に

企画・取材・編集していただいています。

LGBTQ+について知ることができ、関連する本も5冊ほど読みました。その中の1冊に「人とは違う自分を大事にしながら、私と違うあなたを大切に思う、未来のために」との一節がありました。「こうあるべき」と強制するのではなく、「こうありたい」という自由な意思を互いに応援していければと思います。（加藤 孝）

性の多様性への認知が日本でも進んできてはいるものの、性的マイノリティの方々は、まだまだ差別や偏見に悩んでいらっしゃると思います。誰もが個性的に、当たり前のように「桜梅桃李な社会」を身近な家庭から、地域から作っていきたく感じました。（金丸 雅子）

そよかぜの編集に初めて参加しました。性の多様性の編集過程で学んだのは、性のあり方は千差万別で男女の二択だけでは表しきれない事です。お話を伺った方々はTVに性的少数者のタレントが登場した事で勇気付けられたようです。性の多様性の周知が大事、知って理解する事が大事、そよかぜがその一翼を担えればと思います。（小瀬 誠）

取材や「にじいろひろば」でお会いしたLGBTQ+の方々が、「自分の性自認や性的指向を否定する人がいるが、その人や考えを否定はしない。」と言われたことが強く印象に残りました。「さまざまな考えや個性を受け入れ、自分も他者も尊重すること」の大切さを教えられました。そのような社会を作りたいです。（杉原 範子）

## 編集員募集中!!

男女共同参画や情報紙づくりに関心のある皆さん、一緒に情報紙をつくってみませんか。

詳しくは下記の久喜市人権推進課までお問い合わせください。



久喜市は、お互いを認め合える社会を築くため、「人間尊重・平和都市」を宣言しました

男女共同参画情報紙「そよかぜ」のバックナンバーは、久喜市ホームページからご覧いただけます。

◆ 発行／久喜市総務部人権推進課

〒346-8501 久喜市下早見85-3 電話：0480-22-1111（内線2322・2325）FAX：0480-22-3319  
メールアドレス：jinken@city.kuki.lg.jp この情報紙は62,650部作成し、1部あたりの単価は4円です。



再生紙を使用しています。

～ 性的指向や性自認を理由とした偏見や差別をなくしましょう ～

ぬき取ってお読み下さい。